



平成29年7月19日

## 釧路川の生きものを調べて水質を判定！

～地域の小・中学生とともに釧路川で生き物を採取し水質を調べます～

釧路開発建設部では、釧路川の水生生物を調べることで水質状況を把握する「水生生物による水質調査」を、釧路川流域の小・中学校等の協力を得て、下記のとおり実施しますので、お知らせします。（詳細別紙）

この調査は、昭和59年度から日本の主要な河川で実施している全国水生生物調査で、釧路川でも調査開始から今年で34年目になります。

水生生物の種類と数を調べることによって、川の水質状況を簡易的に把握すること、また、川に親しみ、川の環境などについて関心を高めてもらうことを目的としています。

なお、この調査の結果は、水生生物による水質調査結果として毎年公表されており、釧路川の環境を把握する資料として活用されています。

### 記

#### 1) 第1回目

日時：7月25日（火）10：00～14：00（雨天等の場合 7月28日）

場所：標茶町栄

参加校：釧路市立景雲中学校

#### 2) 第2回目

日時：8月1日（火）8：40～11：40（雨天等の場合 8月4日）

場所：標茶町栄

参加校：弟子屈町立弟子屈中学校・標茶町立標茶中学校

#### 3) 第3回目

日時：8月2日（水）10：00～11：30（雨天等の場合は中止）

場所：標茶町川上

参加校：標茶町立標茶小学校・釧路湿原川レンジャー

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路河川事務所

計画課 計画課長 坂井 一浩 電話：0154-38-8300  
計画課 計画係長 大串 正紀 電話：0154-38-8300

釧路開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



## [ 別 紙 ]

### 調査場所



出典:国土地理院ホームページ

出典:国土地理院ホームページ

	実施日	参加者【予定人数】	調査箇所
調査①	7月25日（火）	景雲中学校 生徒【14名】	釧路川右岸（標茶町栄）
調査②	8月1日（火）	弟子屈中学校 生徒【18名】 標茶中学校 生徒【2名】	釧路川右岸（標茶町栄）
調査③	8月2日（水）	標茶小学校 児童【調整中】 釧路湿原川ルンツァー【調整中】	釧路川右岸（標茶町川上）

### [ 予定 ] 調査スケジュール

実施内容	スケジュール		
	調査①	調査②	調査③
救命胴衣の着用方法・調査方法等の説明	10:00~10:30	8:40~9:10	10:00~10:10
川の状況調査【水温、川幅、川底の状態、流速、透明度、臭い、その他】	10:30~14:00	9:10~11:40	10:10~11:30
簡易水質調査【水素イオン濃度（pH）、溶存酸素（DO）など5項目】			
水生生物の採取及び観察による水質判定			
魚類等の捕獲及び観察			

## 平成 29 年度「釧路川水生生物による水質調査」の概要

環境省と国土交通省では、水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、小中学生や一般市民の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。全国の主要な河川で昭和 59 年度から実施し、平成 28 年度は約 57, 000 人が参加しました。

釧路川流域では平成 28 年度は 31 名が参加し、カワゲラやヒラタカゲロウ等の指標生物の生息が確認され「きれいな水」と判定されました。

今年度は 7 月 25 日（火）・8 月 1 日（火）・2 日（水）に釧路市立景雲中学校、弟子屈町立弟子屈中学校・標茶町立標茶中学校、標茶町立標茶小学校・\*釧路湿原川レンジャーのみなさんと「水生生物による水質調査」を実施します。

※「釧路湿原川レンジャー」は釧路開発建設部が毎年募集しているボランティアの方々です。

主な活動は、釧路湿原や釧路川流域の良好な河川環境づくりに参加していただいています。

## 1. 背景・目的

川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去からの長時間の水質状況の変化を表した結果でもあります。したがってどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の水質の状態を知ることができます。釧路開発建設部では、小中学生や地域住民の方に参加していただいて、毎年の夏休み期間中に「水生生物による水質調査」を実施しております。

この調査は、地域の方々と連携しながら河川の水質状況を定期的に点検し、河川環境の管理に資するデータを蓄積していくことを目的としており、同時に、地域の方々に身近な川の水質や生物の様子を自ら調査することによって、河川愛護や河川環境保全等に関する重要性を実感していただくことも目的としております。

## 2. 実施内容

この調査は、①河川状況調査、②簡易水質調査、③水生生物調査、④魚類等調査の 4 項目に分かれております。

- ① 河川状況調査は、川幅、川底の状態、流速、水の濁り、臭い等を調査し、河川の状況を把握するものです。
- ② 簡易水質調査は、簡易的なテストにより水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、アンモニウム態窒素(NH<sub>4</sub>-N)、リン酸態リン(PO<sub>4</sub>-P)、溶存酸素量(DO)を計測し、水生生物が生息する水質環境の状況を把握するものです。
- ③ 水生生物調査は、川底に生息している生物を捕まえ、きれいな水にいる生物、よごれた水にいる生物を判定することによって水生生物の生息環境を確認するものです
- ④ 魚類等調査は、投網で魚やエビなどを捕獲し、どのような魚などが生息しているのかを把握するものです。

これらの調査を行うことで、身近な河川の状況を把握し、さらに関心を深めることにつながっており、これまでの参加者からは「河川への考え方が変わった」、「楽しかった」、「河川についてもっと知りたい」というようなたくさんの感想をいただいています。

# 平成28年度 水生生物による水質調査

参考資料

平成28年度水生生物による水質調査は、7月25日(月)釧路市立景雲中学校、8月10日(水)弟子屈中学校の参加により開催しました。

調査の結果、両日とも釧路川の水質は4段階で最も上位の「きれいな水」と判定されました。また、川での安全対策(水難防止)講習を行い、正しい救命胴衣の着用方法等について学びました。

## 【実施概要】

○平成28年7月25日 釧路市立景雲中学校(27名)

⇒ 調査場所：釧路川南弟子屈橋下流(弟子屈町南弟子屈)

○平成28年8月10日 弟子屈町立弟子屈中学校(4名)

⇒ 調査場所：釧路川鑑別地区(弟子屈町仁多)



安全対策講習の様子  
(救命胴衣の説明)



川の状態観察  
(河岸周辺状況の観察)



川の状態観察(透視度)



水生生物調査の様子



水生生物調査の様子



水生生物の分類の様子



水生生物の分類の様子



水質調査の様子



投網による魚類調査